

経営関連学会協議会（JFMRA）

評議員会 議事録

日時：2017年6月4日（日）13:00～14:00

会場：明治大学駿河台研究棟 2階第9会議室

1. 報告事項

第1号報告 電子版英文ジャーナル（JJM）No.2の発行とNo.3、No.4の募集状況について 徐副理事長

徐副理事長より、JJMについて以下のことが説明された。

- ・JJM No.2は、5月に予定通り発刊された。年2号発行の予定で進めているため、現在、No.3とNo.4の募集を同時に行っている。
- ・ジャーナルの今後の発展のためにも、加盟学会の学会賞受賞論文による学会推薦論文の投稿をしていただけるよう各学会の協力をお願いしたい。
- ・査読者リストの充実のためにも、まだ未提出の学会については提出をお願いしたい。なお個別の学会固有の特殊事情については別途考慮していく。
- ・J-stageへの登録については、現在、J-stage事務局の都合に合わせて、一時見合わせている。

今日、個別の学会レベルでは国際化ということが大きな課題となっているケースが多い。この課題のためにも、JJMを活用して欲しいことが風間理事長より説明された。

第2号報告 会計理論学会の退会申し出について 風間理事長

会計理論学会からの退会申し出があったことが報告された。この結果、現時点での協議会加盟学会数は59学会となる。

第3号報告 Robert Faff教授の講演会（4月1日開催）について 風間理事長

3月の理事会で後援を行うことが承認されたRobert Faff教授の講演会が、4月1日に開催されたことが報告された。

第4号報告 日本サービス学会第6回全国大会の後援について 風間理事長

風間理事長より、以下の2件のイベントについて、経営関連学会協議会として後援することが報告された。

- ・日本サービス学会第6回全国大会（2018年3月10日～11日）
- ・日本学術振興会学術システム研究センターより、UCLA Anderson School of ManagementのSanford M.Jacoby教授の講演会（於、明治大学駿河台キャンパス）

以上の2件の経営関連学会協議会への後援要請がり、これを理事会で承認したことが報告された。なお、この後援には協議会には一切の経済的負担が発生しないことも併せて報告された。

第5号報告 その他 風間理事長

・日本学術会議に関連した事項 経営学委員会の報告書に関連して

日本学術会議経営学委員会において、経営大学院教育のあり方が検討されている。その分科会から専門職大学院改革の報告書が出された。この改革提案をうけ、来年3月開催の経営関連学会協議会講演会では、この内容をテーマに取り上げていくことが説明された。

・日本学術会議の経営学委員会において、経営学委員会の人員増強を文部科学省に対して要請したことが報告された。

2. 審議事項

第1号議案 新規入会申請について 風間理事長

特定非営利活動法人「包括球学術集会」（理事長 吉岡正道、英文名称 Global Academic Community）について説明があり、審議の末、承認された。この加盟をもって経営関連学会協議会の加盟学会数は60学会となった。

第2号議案 2016年度事業報告について 風間理事長（添付資料-1）

風間理事長より、資料に基づき2016年度の活動報告が行われ承認された。

第3号議案 2016年度収支決算について 佐藤副理事長、成道監事（添付資料-2）

佐藤副理事長より、資料に基づき2016年度の収支決算の報告がなされ、承認された。

また、同決算に対して、成道監事より監査報告が行われた。

第4号議案 2017年度事業計画について 風間理事長、植木副理事長（添付資料-3）

2017年度の事業計画について、修正版資料に基づいて説明がなされ、承認された。学会大会情報の共有のために、協議会のホームページを積極的に活用していくことが説明された。

第5号議案 2017年度収支予算について 佐藤副理事長（添付資料-4）

佐藤副理事長より、資料をもとに2017年度収支予算案が説明され、承認された。

第6号議案 2017年度公開シンポジウム、第6回講演会について 植木副理事長

植木副理事長より、第10回公開シンポジウム（2017年11月12日日曜日に開催日程変更）の企画案、および第6回講演会（2018年3月4日）の企画案について説明がなされ、承認された。

第 7 号議案 その他

なし

※評議員会終了後、同会場にて、14 時 10 分から 16 時 45 分まで公開パネルディスカッション「組織の活性化とイノベーションを促進するダイバーシティ・マネジメント ―グローバル人財育成の施策と課題―」が開催された。その後、17 時から 18 時まで同会場にてパネル・出席者による懇談会が開催された。

経営関連学会協議会 (JFMRA)

2016 年度活動報告

1. 第 9 回シンポジウムの開催

「人工知能と人の価値共創をオープンイノベーションでいかに実現するか」

日時：2016年11月20日（日）13:40～17:00

会場：明治大学 グローバル・コモン（グローバル・コモン1階）

総合司会：植木英雄 経営関連学会協議会副理事長・東京経済大学教授

講師・パネリスト

1) 山本 宏氏 IBM理事 Global Electronics Industry CTO

「サイバーフィジカルシステム (CPS) とオープンイノベーション」

2) 氏家 豊氏 SBFコンサルティング株式会社社長

「IoT時代のイノベーション・ドライバーズ」

3) 野村直之氏 メタデータ株式会社社長 (元法政大学大学院客員教授)

「AI 深層学習導入の実際：業務フローの再構築と人間の仕事のシフト」

討論者 澤谷由里子氏 東京工科大学教授 (イノベーション論、MOT)

2. 2016 年度講演会・ワークショップの開催

第 3 回講演会

日時：2016 年 6 月 5 日（日）14：20～16：00 講演会

場所：研究棟 2 階第 9 会議室

講師 戸谷圭子先生 (明治大学・専門職大学院・グローバル・ビジネス研究科教授

日本学術会議連携会員)

「サービス研究の動向と今後の方向性：

サービス・トライアングルで実現するサービス化」

第 4 回講演会

日時：2017 年 3 月 5 日（日）14：20～16：10

場所：研究棟 2 階第 9 会議室

講師：西尾 チヅル先生 (筑波大学大学院ビジネス科学研究科 教授

日本学術会議 連携会員 サービス学の参照基準策定小委員会委員長)

講演テーマ：「大学で学ぶサービス学とは：サービス学の参照基準案について」

3. 経営関連学会協議会ニュースレター (第 7 号) の発行 (2017 年 2 月 6 日)

4. 講演会・シンポジウム企画のためのアンケートの実施 (2017 年 3 月)

5. 電子版英文ジャーナル (Journal of Japanese Management: JJM) 創刊号の刊行 (2016 年 11 月)

投稿規定・執筆細則の変更（2016年6月）

各加盟学会から2名の査読者推薦再依頼（2016年11月）

編集委員会の立ち上げと第2号原稿募集（2016年11月）

6. 入退会の状況 退会学会（2学会）

日本会計理論学会（2017年3月）

日本ディスクロージャー研究学会の退会（2017年3月）

59学会（2017年3月31日現在）

7. 加盟学会の2016年度全国大会の（1）開催期日，（2）開催場所，（3）統一論題テーマの調査を行った。

以上

経営関連学会協議会

平成 28 年度 収 支 決 算 書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：円)

	予算額	決算額 (執行状況)	差異
I 収入の部			
会費収入	当年度 1,860,000	1,470,000	-390,000
	過年度 180,000	180,000	0
	翌年度 0	0	0
論文掲載料収入	0	50,000	50,000
受取利息収入	500	70	-430
雑収入	0	0	0
当期収入合計	2,040,500	1,700,070	-340,430
II 支出の部			
事務局費	20,000	16,098	-3,902
事務運営費	150,000	148,800	-1,200
HP運営・事務局業務委託費	388,800	388,800	0
ニューズレター作成費	20,000	0	-20,000
理事会費	100,000	99,066	-934
役員交通費	408,000	252,000	-156,000
評議員会費	210,000	65,360	-144,640
委員会費	20,000	0	-20,000
シンポジウム・講演会等開催費	300,000	323,941	23,941
英文ジャーナル発刊費	400,000	190,000	-210,000
予備費	100,000	0	-100,000
当期支出合計	2,116,800	1,484,065	-632,735
当期収支差額	-76,300	216,005	292,305
前期繰越額	2,147,086	2,147,086	0
次期繰越額	2,070,786	2,363,091	292,305

以上

経営関連学会協議会 (JFMRA)

2017 年度活動計画

1. 電子版英文ジャーナル (Journal of Japanese Management: JJM) の継続的発行

徐副理事長・編集委員会

委員長

- ① 第3号・第4号原稿募集について
- ② 査読体制の強化について
- ③ 投稿論文数の拡大について

2. 加盟学会の2017年度全国大会の(1)開催期日, (2)開催場所, (3)統一論題テーマの調査を行い, 協議会HPのトップページにおいてカレンダー形式で情報共有する。

3. 第5回 講演会 (公開パネルディスカッション) 植木副理事長 (企画担当)

日時: 6月4日 (日) 午後2時10分~4時30分

場所: 研究棟2階第9会議室

講師 異文化経営学会会長 馬越恵美子教授 (桜美林大学)・日本学術会議連携会員

富士ゼロックス株式会社人事部人事企画チーム長 井野博之氏

テーマ: 「組織の活性化とイノベーションを促進するダイバーシティ・マネジメント

ト

—グローバル人財育成の施策と課題—

3. 第10回シンポジウムの開催 植木副理事長 (企画担当)

日時: 11月12日 (日)

場所: グローバル・フロント1階・グローバル・ホール

時間: 13:40~17:10

テーマ案: 「地方創生を活性化するソーシャル・イノベーションと人財育成」

講師案: 日本学術会議「地域経営学の研究、教育の在り方検討委員会」藤永委員長、

伊藤園 (笹谷 CSR 常務)、カルビー (二宮社会貢献委員長)、

NPO 法人アサザ基金 (飯島代表理事)

4. 第6回 講演会 植木副理事長 (企画担当)

日時: 2018年3月4日 (日)

場所: 研究棟2階第9会議室

講師・テーマ未定

5. 経営関連学会協議会ニューズレター (第8号) の発行 阿部副理事長 (広報担当)

6. 経営関連学会協議会第5期役員を選出 (2018年3月4日)

7. 新規加盟学会の増加に向けて
8. 今後の協議会の役割と課題について
9. その他

経営関連学会協議会における第4期の役割と課題事項

	課題事項	責任者	役員
1	英文ジャーナルの継続的発行体制の確立	徐副理事長	出版
2	協議会広報活動の強化	阿部副理事長	広報
3	講演会・シンポジウムのテープ編集・HP アップ	濱沖理事	広報・出版
4	協議会加盟学会の拡大	百田副理事長	組織
5	シンポジウム・講演会の在り方	植木副理事長	企画
6	協議会予算の今後の見通しと持続可能性	佐藤（信）副理事長	会計

経営関連学会協議会

平成 29 年度 収 支 予 算 書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単価：円)

	28年度予算額	29年度予算額	差異
I 収入の部			
会費収入	当年度 1,860,000	1,710,000	-150,000
	過年度 180,000	210,000	30,000
	翌年度 0	0	0
論文掲載料収入	0	100,000	100,000
受取利息収入	500	100	-400
雑収入	0	0	0
当期収入合計	<u>2,040,500</u>	<u>2,020,100</u>	-20,400
II 支出の部			
事務局費	20,000	20,000	0
事務運営費	150,000	150,000	0
HP運営・事務局業務委託費	388,800	388,800	0
ニューズレター作成費	20,000	20,000	0
理事会費	100,000	100,000	0
役員交通費	408,000	360,000	-48,000
評議員会費	210,000	150,000	-60,000
委員会費	20,000	20,000	0
シンポジウム・講演会等開催費	300,000	311,000	11,000
英文ジャーナル発刊費	400,000	400,000	0
予備費	100,000	100,000	0
当期支出合計	<u>2,116,800</u>	<u>2,019,800</u>	-97,000
当期収支差額	-76,300	300	76,600
前期繰越額	<u>2,147,086</u>	<u>2,363,091</u>	216,005
次期繰越額	<u>2,070,786</u>	<u>2,363,391</u>	292,605